

令和 7 年度

事 業 報 告

令和 7 年 4 月 1 日から
令和 8 年 3 月 3 1 日まで

公益財団法人地域社会振興財団

目 次

○事業報告

I 法人の概要	1
II 公益目的事業の実施状況	2
1 調査研究事業（公益目的事業1）	2
（1）調査研究	2
（2）研究機器の整備	4
2 研修事業（公益目的事業2）	4
（1）中央研修	5
（2）現地研修会	5
（3）健康福祉プランナー養成塾	5
（4）地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム	5
3 交付金交付事業（公益目的事業3）	8
（1）人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金	8
（2）整備拡充事業費交付金	8
III 運営体制の適正化を図るための取組	10
1 外部理事の選任	10
2 評議員の選任	10
3 公認会計士による外部監査の実施	10

○事業報告の附属明細書	11
-------------	----

事業報告

I 法人の概要

当財団は、住民の日常生活圏域である地域社会における各種問題について基礎的総合的研究等を行うとともに、地域社会に対する施策を推進し、もって地域社会における住民の健康及び福祉の向上並びに文化の振興を図り、地方自治の基盤の充実に寄与することを目的として昭和47年12月に「財団法人へき地振興財団」として設立された。

以来、経済社会の動向を見つめながら、そのニーズに沿った事業を推進してきたが、それぞれの地域において一人ひとりがこころ豊かで、自立と連携の精神に立脚して形成される魅力ある地域社会が築けるよう、高齢化対策に積極的に取り組んでいる地方公共団体を支援するため、交付金交付事業を創設し、これを機に名称を平成元年4月に「財団法人地域社会振興財団」と改めた。その後、公益法人制度改革に伴う公益法人への移行認定を受けて、平成25年4月から「公益財団法人地域社会振興財団」として新たにスタートした。

栃木県が発行する「地域医療等振興自治宝くじ」の収益金を主な財源として以下の3つの公益目的事業を行っており、社会情勢の変化に対応しながら地域社会のニーズに沿った事業を展開している。

(1) 調査研究事業（公益目的事業1）

へき地など地域住民の疾病の特異性、病態生理とその原因等を明らかにし、それに対する有効な対策について基礎的・総合的な調査研究を行うほか、同地域における少子高齢化の進行に対応した保健・医療・福祉に係る諸施策を支援するための調査研究を行う事業

(2) 研修事業（公益目的事業2）

地域において保健・医療・福祉事業に携わる専門職員を対象とした最新の専門知識や技術の習得を図るための研修、地域住民を対象とした健康や医療、福祉に関する意識向上のための研修、地域医療が抱える様々な問題とその解決策を医療従事者等と地域住民とともに考え討議するためのシンポジウム等を行う事業

(3) 交付金交付事業（公益目的事業3）

地方公共団体等が行う人口減少・少子高齢化の進行に対処するための施策及び東京圏の人口集中を是正し、地方で安心して、子どもを生み育て、暮らすことができる環境を確保するための施策の実現に資するため並びに学校法人自治医科大学の教育・研究に欠くことのできない施設設備の整備を支援するための交付金の交付を行う事業

Ⅱ 公益目的事業の実施状況

令和7年度に実施した事業は以下のとおりである。

1 調査研究事業（公益目的事業1）

（1）調査研究

当財団に設置する地域社会健康科学研究所（6研究部門、実験医学センター及びさいたま支所）において、以下の調査・研究を実施した。研究成果については、研究報告書として取りまとめ、各都道府県に配付し、疫病予防や公衆衛生の向上等に活用していただくとともに、ホームページに掲載し、広く周知を図った。

また、本研究所の研究活動については、研究の審査及び評価を行うことを目的として設置している委員会において、研究計画の審査、研究進捗状況及び研究成果の確認、研究費の分配等に関する審議を行った。

さらに、社会情勢の変化に対応するため、3年ごとに研究内容を見直し及び研究成果の評価を実施し、より効果的な事業展開に努めている。

① 環境医学研究部門

地域における疾病の環境要因の解明に関する研究

② 血液医学研究部門

地域における疾病の特性と遺伝要因の解明に関する研究

③ 保健科学研究部門

地域特性を踏まえた予防医学事業の企画、推進に関する研究

④ 健康福祉計画研究部門

ア 地域医療における好発疾患や医療体制に関する研究

イ 地域特性を踏まえた保健・医療・福祉施策の企画・実施方法に関する調査研究

ウ 地域における総合医と診療の在り方に関する研究

⑤ 病態生理研究部門

ア 病態検査、臨床生理等に関する基礎的・臨床的研究

イ 悪性腫瘍の発生機序等に関する細胞病理学的研究

⑥ 情報システム研究部門

包括医療情報システムの開発に関する研究

⑦ 実験医学センター

疾患モデル動物の作成・維持・管理・評価のための支援システムの研究

⑧ さいたま支所

循環器疾患、消化器疾患、がん、救命救急医学、麻酔・集中治療等の先端基礎研究

各研究室等の個別課題

研究室名	研究課題名(令和7年度～令和9年度)
環境医学研究室	地域住民を対象としたオミクス解析による疾患リスク予測マーカーの開発
心血管・遺伝学研究室	地域における小児及び成人疾患の遺伝要因と疾患特性の解明
公衆衛生学研究室	栃木県内の地域保健従事者の研究能力向上に関連した研究
地域医療学研究室	① 地域医療における生活習慣病関連残存リスク指標に関する検討
	② 地域医療白書の基盤的研究
地域健康福祉研究室	社会的処方と地域包括ケアシステムの実態研究
総合診療研究室	大規模医療情報等を活用した総合診療・感染症に関する臨床研究および人材育成の推進
臨床検査医学研究室	臓器・組織傷害の分子マーカーと超音波所見に関する研究
病理学研究室 (腫瘍病理学)	遺伝子異常から微小環境まで:多層的アプローチによる腫瘍進展機構の探索
病理学研究室 (包括病態病理学)	消化器悪性腫瘍の発育進展過程の解明および術前化学療法の効果予測因子の探索
情報システム研究部門 (情報センター)	自治医大における IR(Institute Research)の機能の検討ー卒前から卒後にまたがる大学のマイルストーン評価および教学データにおけるデータ解析システムの検討ー
実験医学センター	個別化医療実現のための疾患モデル動物作製,維持,管理,評価を支援する基盤システムの構築と改良
さいたま支所 (内科系)	HIV 陽性者の歯科・透析医療および介護サービスアクセス向上のための地域連携体制構築に関する研究 - 感染症専門医・エイズ認定医によるアウトリーチ型教育プログラム-
さいたま支所 (外科系)	環境要因が誘導するエピゲノム異常と non-coding RNA 機構の破綻による食道胃接合部腺癌・食道腺癌の発癌機構の解明

（２）研究機器の整備

公益財団法人 J K A の補助（補助区分：「医療機器の振興に資する事業に関する補助金（難病及び希少難病に関する研究機器の整備（医療機器の整備）」））を受け、地域社会健康科学研究所における調査・研究に必要な研究機器の整備を行った。

整備機器名 Visium CytAssist

研究テーマ 難病及び希少難病に関する研究

研 究 目 的 特発性肺線維症（IPF）は予後不良の疾患であり、新たな治療法の確立が急務である。近年のシングルセル RNA シーケンシング（scRNA-seq）技術の進歩により、組織幹細胞の分化異常が IPF の病態に重要であることが示されたが、そのメカニズムおよび線維化との関連は十分に解明されていない。本研究では、空間トランスクリプトーム解析を通じて、IPF における内皮細胞の質的および空間的特性、及び上皮幹細胞との相互作用を詳細に解析し、内皮細胞を標的とする新規治療法の開発に寄与することを目的とする。

機器整備費 9, 7 1 8 千円（J K A 補助額 4, 8 5 9 千円）



2 研修事業（公益目的事業２）

へき地等の地域において保健・医療・福祉事業に携わる専門職員を対象とした専門職研修会を実施したほか、地域住民を対象とした研修会及び地域医療が抱える様々な問題とその解決策について、医療従事者等と地域住民が共に考え、討議するシンポジウムを開催した。開催後には、報告書を取りまとめホームページに掲載するなど、当財団の取組を広く周知した。

(1) 中央研修会

地域の保健・医療・福祉事業に携わる医師、看護師、医療技術者等を対象に、当該分野の専門家を講師として、最新の医療情報に関する講義や、技術の向上を図るための演習等から構成される研修会を開催した。各研修会の終了後には毎回、受講者アンケートを実施し、参加者の満足度や改善要望を把握している。これらの結果については、各分野の専門家である外部委員を中心とした関係委員会において共有し、次回研修会の企画・運営に反映させることにより、研修会の質の向上を図っている。

実施回数：14回　参加者数：396名

(2) 現地研修会

地方公共団体等が推進する健やかな地域社会づくりに寄与することを目的として、地域住民並びに保健・医療・福祉事業に携わる医師、看護師、医療技術者等を対象に、全国各地の地方公共団体等が企画する健康及び福祉に関するテーマの研修を、当該団体と当財団との共催により開催した。

実施回数：8回　参加者数：664名

(3) 健康福祉プランナー養成塾

地域住民の社会福祉・介護サービスを実際に構想し、運営するコミュニティ・リーダーを育成するため、地方公共団体等の健康福祉行政等の企画立案に携わる保健師、医師、事務職員等を対象に、それらの職種を横断するような研修会を開催した。また、終了後には受講者アンケートを実施し、参加者の満足度や改善要望を把握している。これらの結果については、各講師へのフィードバックを行うとともに、実際に社会福祉等に携わる外部委員を含む関係委員会において共有し、次回養成塾の企画・運営に反映させることにより、研修会の質の向上を図っている。

実施回数：2回〔夏・秋（アドバンストコース）〕　参加者数：34名

・夏（7月16日～7月20日）参加者21名

・秋（11月6日～11月8日）参加者13名

(4) 地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム

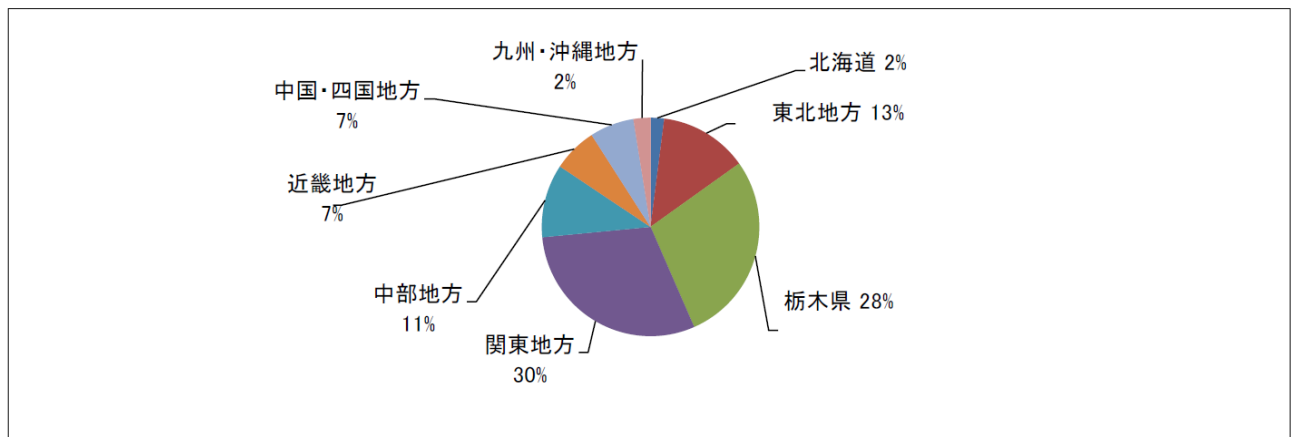
地域医療の問題解決に向けて必要となる住民の主体的な活動を促進するため、住民団体（住民グループ及びNPO法人等）による全国的な連携を可能とするネットワークの形成並びに持続的かつ発展的な地域医療支援活動の推進を目的としたシンポジウムを開催した。

実施回数：1回（9月13日）　参加数：35名

中央研修会開催状況

No		R7年度 定員	R7年度 受講人数	R6年度 定員	R6年度 受講人数	R5年度 定員	R5年度 受講人数
1	第3回看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会	30	30	30	30	30	41
2	第43回診療放射線技師研修会	40	41	40	43	40	41
3	第43回薬剤師研修会	60	66	60	60	60	63
4	第10回栄養管理研修会	60	43	40	47	40	51
5	第50回臨床検査技師研修会	80	45	80	79	50	51
6	第23回健康企画・評価研修会	20	16	20	17	20	17
7	第44回保健活動研修会	20	8	30	10	30	8
8	第3回看護師特定行為研修修了者スキルアップ研修会	20	4	30	4	30	7
9	第43回健康学習研修会	20	16	20	11	20	12
10	第21回口腔ケア研修会	48	36	48	38	48	35
11	第5回災害保健研修会	20	11	20	14	20	26
12	第25回リハビリテーション研修会	40	24	40	20	40	25
13	第48回スタッフ育成・管理担当者研修会	40	43	40	48	40	36
14	第1回災害薬事研修会	30	13				
15	第2回チーム医療充実を目指したメディカルプロフェッショナル研修会			30	12	48	16
計		528	396	528	433	516	429

【参考：地域別受講者数の割合】



現地研修会開催状況

No	第○回	研 修 会 名	開催地	主催者	開催日	受講者数
		テ ー マ				
1	522	令和7年度奈良県高次脳機能障害研修会	奈良県 田原本町	奈良県高次脳機能 障害支援センター	9月20日	40
		高次脳機能障害と向き合い、支えるために				
2	523	第13回つるカフェ市民講座	栃木県 下野市	つるかめ診療所	8月31日	197
		人生最終章の尊厳を守る排泄ケア				
3	524	令和7年度奈良県総合リハビリテーション センター 県民公開講座	奈良県 田原本町	奈良県総合リハビリ テーションセンター	10月18日	180
		未来の自分や家族のために今できること ～脳卒中の基本と予防について～				
4	525	鳥取市立病院 第3回とことん学ぶ研修会	鳥取県 鳥取市	鳥取市立病院	10月25日	60
		うちげの整形外科治療 スポーツ整形から ロボット手術まで				
5	526	いくつになっても動けるからだづくり	新潟県 三条市	NPO法人 J-HOPE	11月29日	59
		サルコペニア・フレイル対策で健康寿命を 延ばす				
6	527	思春期自殺予防研修会	佐賀県 唐津市	佐賀県唐津 保健福祉 事務所	2月12日	52
		精神疾患の親を持つ子どもへの支援				
7	528	令和7年度 宮崎県中央保健所 健康づくり 指導者研修会	宮崎県 宮崎市	宮崎県中央 保健所	2月14日	41
		高齢者の健康づくりについて				
8	529	地域で健康寿命を延ばす多職種の実践	福島県 福島市	福島県立医科 大学	2月15日	35
		—つながりと創造のヘルスプロモーション—				
合 計						664

【参考】令和6年度開催状況 全14回開催 受講者数 1,492名

３ 交付金交付事業（公益目的事業３）

地域医療等振興事業費交付金交付事業（以下「交付事業」という。）として、以下の２事業に対し交付金を交付した。

交付事業の実施に当たっては、宝くじに関する専門的知見を有し交付事業の内容に精通した外部委員により構成される審査会において、交付事業の基本的な重要事項について審査を行っている。また、交付金に係る管理及び経理の状況等については、地域医療等振興自治宝くじの発売元である栃木県による検査を毎年受審し、事業の適正な執行を担保している。

（１）人生１００年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金（１，２０４百万円）

人生１００年時代づくり・地域創生ソフト事業に積極的に取り組んでいる都道府県及び市（区）町村等を支援するため、交付金を交付した。

①都道府県

都道府県が主体となって行う事業、４７都道府県１０６件に対して、７４０百万円を交付した。

②市（区）町村等

市（区）町村等が主体となって行う事業１７７件に対して、４６４百万円を交付した。

（２）整備拡充事業費交付金（７２０百万円）

わが国のへき地等における地域医療の先駆的な役割を担っている自治医科大学の施設や研究機器等の設備の整備拡充を支援するため、整備拡充事業費交付金を交付した。

令和7年度人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付一覧

区分	事業区分名	都道府県分 (件数)	市(区)町村等分 (件数)
①	雇用・就業対策事業	0	5
②	健康づくり推進事業	14	36
③	介護保険制度等充実支援事業	4	8
④	医療対策事業	9	29
⑤	福祉対策事業	18	17
⑥	学習・社会参加活動促進事業	48	21
⑦	住宅・生活環境事業	2	10
⑧	高齢社会研究開発のための事業	0	1
⑨	こども・若者・子育て支援事業	5	11
⑩	地方移住・関係人口創出事業	0	30
⑪	その他	6	9
合 計		106	177
交 付 額 (千円)		740,068	463,831

【参考】

令和6年度人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付一覧

区分	事業区分名	都道府県分 (件数)	市(区)町村等分 (件数)
①	雇用・就業対策事業	1	2
②	健康づくり推進事業	14	21
③	介護保険制度等充実支援事業	5	5
④	医療対策事業	7	32
⑤	福祉対策事業	16	16
⑥	学習・社会参加活動促進事業	45	30
⑦	住宅・生活環境事業	2	3
⑧	市場活性化・研究開発推進のための事業	0	0
⑨	少子化対策事業	6	8
⑩	地方移住・関係人口創出事業	0	28
⑪	その他	9	10
合 計		105	155
交 付 額 (千円)		744,794	421,074

Ⅲ 運営体制の適正化を図るための取組

1 外部理事の選任

外部からの多様な視点を導入し、理事会運営の活性化を図る観点から、現在就任している理事7名のうち5名を外部理事として選任している。具体的には、地方公共団体の長の全国的連合組織である全国知事会、全国市長会及び全国町村会から各1名を選任し、地方自治の観点から理事会に参画していただいている。また、地域医療等振興自治宝くじの発売元である栃木県から1名を選任しているほか、地域医療の視点を取り入れるため、病院勤務の医師1名を選任している。

2 評議員の選任

評議員が特定の関係者に偏らないよう、評議員の選任及び解任の方法等について外部理事・監事に準じた基準を法令に基づき定款に定め、当該基準に基づき評議員を選任している。具体的には、地方自治の視点を取り入れるため、地方公共団体の議会の議長の全国的連合組織から選任された3名をはじめ、多様な観点から選任された9名の評議員に参画していただいている。

3 公認会計士による外部監査の実施

適切な情報開示及び会計処理の確保並びに外部チェックの重要性にかんがみ、監事による監査に加え、公認会計士による外部監査を実施している。

事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告においては、附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。